

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年11月5日（月）

2 確認箇所

フランジタンク解体部材一時保管施設①

3 確認項目

フランジタンク解体部材一時保管施設①の現況

4 確認結果の概要

発電所構内では、漏えい防止対策の観点からフランジ型タンクを解体し、溶接型タンクを建設する工事が行われている。解体されたフランジ型タンクは、フランジタンク解体部材一時保管施設において一時仮置きされた後、大型機器点検建屋における除染、定検機材倉庫における切断・減容工程を経て、鋼製のコンテナに収納された状態で固体廃棄物貯蔵庫に保管されている。

今回、上記工程のうち、フランジタンク解体部材一時保管施設①における仮置状況等を確認した。

- ・当該施設は、鉄骨に白色のテントを被せたものでできており、目視した限り、テントに破れはなく、雨水が流入するおそれは認められなかった。

（写真1）

- ・施設内には、解体されたフランジ型タンクの側板（写真2）や鉄板等の資機材（写真3）、大型土のう袋に収納された鉄くず等の廃棄物（写真4）が仮置きされており、付近には仮置表示がなされていた。

- ・目視した限り、仮置きできるスペースは十分あり、廃棄物等が飛散、流出している状況は認められなかった。



（写真1-1）



（写真1-2）



(写真 2)



(写真 3)



(写真 4)

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。